

- 平成29年新年会長あいさつ-----①
- 技術研修会のご案内、懇親ゴルフ大会結果-----②
- 都民計量ひろば、同つどい、関ブロ、-----③
- 東西計コン-----④

Libra Vol. B044
2017年1月1日発行

発行/一般社団法人 計量器コンサルタント協会
連絡先 〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-41
一般社団法人 東京都計量協会内
TEL 03-6666-8960 FAX 03-6666-8970

計量の安心・安全・信頼を推進する
計量器コンサルタント

平成29年新年 石井康二会長のあいさつ



会員の皆様、新年おめでとうございます。穏やかで清々しい2017年酉年がスタートしました。

昨年は、理事各位の尽力の基、会員各位のご協力で予定されていた行事は全て滞りなく終了することが出来ました。これも皆様のご協力の賜物と感謝いたします。本当にありがとうございました。

さて昨年、当協会の定時総会にて年会費について改定をさせて頂きました。従来、個人会員のみの設定でしたが新たに法人会員(企業内代表者)と法人内個人会員の区分けを設けました。(個人正会員 ¥12,000/法人会員「企業内代表者」¥15,000/法人内個人会員 ¥8,000)

これは個人会員の減少を防ぐため、そして同一企業内の会員登録を増やして頂くための方策として取り入れました。同一企業内で2名以上の個人会員登録がある場合にメリットが出る仕組みとなっております。お二人の内、どちらかが代表者登録をして頂ければと思います。

この場合、代表者とはいわゆる代表取締役のことではなく、複数いる会員の中の代表者としてご登録頂ければと思います。もちろん会員である代表取締役が代表者としてご登録頂くことは何ら問題ありません。企業内に当協会の会員を一人でも多く増やして頂ければ幸いです。今後、企業内代表者には、各種行事への参加費等で更にメリットが出せるよう検討してまいりますので、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

昨年の業界の動きとしては、計量行政審議会が開かれ計量制度の見直し論議がスタートしました。ご承知の通り我が国の計量制度は、昭和26年の計量法制定以降、平成5年に改正計量法の施行を経て、各時代の要請に適切に対応しつつ変遷してきております。しかしながら、昨今の目覚ましいほどの技術革新や計量行政を取り巻く環境や状況の変化に的確に対応する必要が生じ、次なる10年に向けて取り組むべき方向性が示されました。一つは「民間事業者の参入の促進」そして「技術革新、社会的環境変化への対応」最後が「規制範囲・規定事項の再整理・明確化」の3つの視点であります。今後、この3つの視点から論点を絞り詳細にわたり見直し、改正が行われることとなります。当然、計量の現場での対応に変化が出てくる可能性もありますが、計量法の基盤である国民生活・経済社会における取引の信頼性や、安全・安心の確保という理念に何ら変わりはないはずです。計量法の第一条(目的)は、「この法律は、計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保し、もって経済の発展及び文化の向上に寄与することを目的とする」と記されております。計量に携わる者として、今一度この目的を噛みしめ、気持ちを新たに日々の業務に邁進しつつ動向を見守りたいと思います。

なお、この計量制度の見直しについては、当協会のHPで最新情報を逐一更新しておりますのでぜひご高覧頂きますようお願い申し上げます。

第2回技術研修会 2月8日、計機健保会館で開催

「Pi！ たつと計測 様々な計測器のケーブルレス環境を簡単・低コストで実現！」

協会は、2月8日、東京都千代田区半蔵門の計機健保会館で第2回技術研修会を開催します。ただいま聴講者を受け付けております。ふるってご参加ください。

今回は「Pi！ たつと計測 様々な計測器のケーブルレス環境を簡単・低コストで実現！」をテーマに、ワイヤレス通信技術の「ブルートゥース」を用いて、計量・計測・測定の結果を簡単にPCやタブレット、スマホなどに取り込む技術及び機器を研修します。

世間では、会議の資料を紙に印刷しないでパソコンやタブレットを使用したり、測定データの保管をUSBメモリやデータロガーに記録してパソコンに転送したりするなど、ペーパーレスで行うことが多くなってきました。

そこで今回の研修内容は、計量器や計測器の測定データを無線通信「Bluetooth(ブルートゥース)」を使ってパソコンやタブレットなどの端末に入力するシステムの説明です。一度ご覧いただけ

ればお客様からお話しがあった時に「そう言えばこういうシステムがあった！」とご提案ができると思われ

ます。同研修会は、計量器コンサルタントの資質向上を目指す事業の一環として、平成28年度第2回目の技術研修会を下記日程により開催致します。

▽日時＝2017(平成29)年2月8日(水) 14時～16時

▽演題＝「Pi！ たつと計測 様々な計測器のケーブルレス環境を簡単・低コストで実現！」

▽講師＝松下祐也氏(ディジ・テック東京営業所)

▽会場＝計機健保会館(東京都千代田区麴町1-8-5、電話03-3264-4331)

計コン協事務局 FAX:03-6666-8970 TEL:03-6666-8960

第5回計量器コンサルタント懇親ゴルフ大会と第1回宿泊ツアー

当協会は、2016年11月18日の金曜日、埼玉県秩父市の「ザ ナショナルカントリー倶楽部 埼玉(旧:廣濟堂埼玉GC)」で晴天の中、懇親ゴルフ大会が開催された。

参加者は当協会員が5名、(一社)日本計量振興協会から2名の合計7名。

優勝はワーク衡業の居鶴義雄さん。(写真右) 今大会初優勝。

ベスグロは今大会5回目にして初受賞の日本計量振興協会の安坂さん。

順位は以下の通り。(競技方法:新ペリア、スコアカット:ダブルパー)

次回は来春に開催予定。

また、今回は初の試みとして懇親ゴルフ大会当日に「宿泊ツアー」を開催した。

宿泊先は「和銅鉱泉 ゆの宿 和どう」。

参加者は石井会長、テイク松定の松村さん、大森の3名。

この宿は、なかなか予約が取れないと人気の高い評判の宿らしい。(近くのラーメン屋の奥さん談)

部屋でお酒を飲んだり、温泉に浸かったりしながら楽しい時間を過ごした。

翌日の朝食は、お酒を飲みすぎた後でも胃に優しい地元の食材を使った種類豊富な料理だった。この日は近くの「浦山ダム」へ紅葉狩りを予定していたが、未明からの雨模様となり中止となった。

次回は今年の春か秋に開催予定。



第5回計量器コンサルタント協会懇親ゴルフ大会 成績表

順位	氏名	企業名(※は当協会員)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	居鶴 義雄	㈱ワーク衡業※	55	44	99	26.4	72.6
準優勝	安坂 竹男	(一社)日計振	50	48	98	22.8	75.2
3	松村 卓	㈱テイク松定※	52	51	103	25.2	77.8
4	大森 規雄	共栄衡器㈱※	57	56	113	34.8	78.2
5	石井 康二	太陽計器㈱※	58	56	114	34.8	79.2
6	加藤 覚	(一社)日計振	50	49	99	19.2	79.8
7	森田 暁星	㈱テラオカ※	58	59	117	33.6	83.4

2016「都民計量のひろば」(新宿西口ひろば)

「都民計量のひろば」が11月1日に実施された。計量思想の普及啓発を図るとともに計量器コンサルタント制度のPRを行った。企画、立案の幹事会・実行委員会から参画し、当日は、人気の高い「健康と計量コーナー」を担当した。説明応援要員として数名が応援、機器の操作や計測を行ったほか、今年は計量に関する景品付きクイズも実施した。



計量記念日のつどい

都計協主催の計量記念日のつどいが11月10日に開催された。東京都生活文化局長感謝状の経営者の部では、当会会長の石井康二氏(太陽計器)が、東京都計量協会会長表の経営者の部では、同理事の西清志氏(ウエストゲージ)がそれぞれ受賞した。受賞者を代表して、謝辞を石井会長が述べた。



受賞した石井康二会長(上)と、西清志理事(右)。



関東甲信越地区計量団体連絡協議会開く

2016(平成28)年度関東甲信越地区計量団体連絡協議会が、神奈川県の大磯で、10月19日、神奈川県・箱根湯本の「ホテル河鹿荘」で開催された。約190名が参加し、計量功労者表彰式を挙行、各都県提案の4つの議題を討議した。記念講演は、佐藤光信平木浮世絵美術館館長による「浮世絵と箱根駅伝」。その後懇親会を開催した。

同連絡協議会は、関東甲信越地区の計量協会と計量士会が合同で、各都県が持ち回りで開催している。かつては計量協会と計量士会はそれぞれ独自で協議会を開催していたが、2003(平成15)年から合同開催している。同協議会は、年に一度、10都県に渡る関東甲信越地区の計量協会と計量士会の会員が集まり、計量に関する諸問題を討議するとともに、相互の交流を深め、親睦促進をはかっている。



関ブロ会場の様子(上)と、発言する大森規雄副会長(右)。



東西計コンを東京組が当番で開催

計量器コンサルタント協会は、2016年10月5日、第25回目の東西計コン合同研修見学会を開催した。同見学会は、年に一度、東西の計量器コンサルタントが一堂に会して、企業などの施設や工場を研修見学し、また会員同士の情報交換と親睦を深める機会となっている。開催場所は、東西が1年ごとに交代で幹事をつとめて実施している。

今年は東京側が幹事となり、神奈川県藤沢市にある荏原製作所の工場(藤沢事業所)を見学。東京側から9名、関西側からは大阪計量器連合会の加賀会長はじめ7名の参加となった。

一行は新横浜駅で合流し、マイクロバスで一路藤沢工場に向かった。平日とあってか道路も渋滞がなく30分程で到着した。

荏原製作所の主力である各種ポンプのショールームを見学。その後、大ホールに移り会社概要のスライド説明と、ピンポン玉と羽根車を使った実験でポンプ原理のレクチャーを受けた。ポンプは羽根車を回転させることで遠心力を起し流体を動かすもので、羽根車の構造、材質、モーターの回転速度等でその性能が左右されるとのこと。一同、回転する羽根車から次々と送り出されるピンポン玉を見て納得のようだった。その後、一同は東京ドーム8個分、37万5000平方mもの広さの藤沢工場内を徒歩で見学。



普及型のポンプを製造する第1工場、大型、特注のポンプを受け持つ第2工場、そして水以外の流体を動かす産業用ポンプの第3工場と見て回った。各工場では荏原製作所の社員と協力会社のスタッフがそれぞれの工程作業をていねいかつ着実に熟していた。機械オートメーションで大量に同じポンプを作るといよりも、1台1台に思いを込めて大切に作り上げる職人の意気込みを感じることができた。

3つの工場の見学コースを回り、ゲストハウスに戻るころには歩き疲れるメンバーも出て藤沢工場の敷地の広さを改めて感じる事となった。その後、質疑応答の時間を取り予定時刻に工場を後にした。

一行を乗せたマイクロバスは、横浜中華街に進路を取る。帰りの道にもさほどの渋滞もなくほぼ予定通りに中華街に到着。地久門の近くにある関帝廟を参拝し懇親会場の「四五六菜館別館」へ。大森則雄専務理事の乾杯により、自慢の中華料理を味わいながら東西の親睦を深めた。



計コン協会HPに素早く簡単にアクセスできるQRコード

計量器コンサルタント協会の公式ホームページに、素早く簡単にアクセスできるQRコードを右の通りつくりました。

お手持ちのノートパソコン、タブレット、スマホのカメラでQRコード(バーコードリーダーアプリを事前にご用意ください)を読み取っていただきますと、自動的に表示されます。

会の最新の行事予定や概要などがございます。ご覧ください。

